

スマートシティ 推進協議会設立

都 城 市

都城市は5日、産学官で連携する「スマートシティ推進協議会」（会長・池田宜永市長）を立ち上げた。写真。デジタル技術の活用や各種データの共有化により地域課題の解決に取り組むほか、市民生活の利便性や快適性向上を目指すビジョン策定などを進める。

協議会では、都城商工会議所や南九州大学、都城市北諸県郡医師会など5団体

で幹事会を構成、市内外から募る会員企業の知恵も借りる。会員には、デジタルトランスフォーメーション（DX）化や課題解決へ向

都城市スマートシティ推進協議会設立式



けた企業同士のマッチングサポートなどを行う。

市は2019年8月のデジタル化推進宣言に基づき、市民サービスや自治体経営のデジタル化を進めている。市役所であった設立式で池田会長は「デジタル化の恩恵を市民にどのよう届けられるのか。産学官で考えていきたい」と話した。

（野村圭）